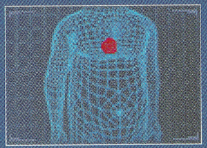
STORY 4-6



手術No20

最初の一刀

患者 日比谷克己

TIME LIMIT 05:00:00

ギルス「ペンプティ」を調査し、対抗策を見つける。新垣の指示に従い執刀を行なうこと。

1 メスをペーストに当て続ける

2 レーザーをペーストに当て続ける

3 ヒールゼリーをペーストに塗り続ける

4 注射器でモヤに青色の薬を投与

5 注射器でモヤに桃色の薬を投与

6 注射器でモヤに黄色の薬を投与

7 注射器でモヤに白色の薬を投与

8 注射器で回復剤を投与

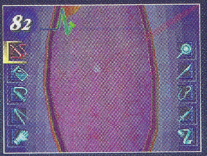
回復剤はペーストのかかっていない場所にしか打てない。ペーストに投与するとミスになる。

9 注射器で青、黄色の順に薬をモヤに投与

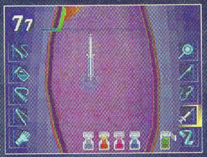
10 注射器で桃、白色の順に薬をモヤに投与

11 メスで体組織を切開

12 ピンセットで体組織を摘出



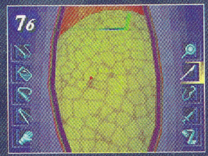
1～3
それぞれの器具がなくなるまで画面をタッチし続けること。器具を使いきるとつぎの指示が入る。



4～7
ペーストの下に時折ぼんやりと見えるモヤに、新垣の指示に従って試薬の投与をしていく。



8
回復剤はペーストがかかっていない場所に打つこと。ペーストに注射するとMISSになってしまう。

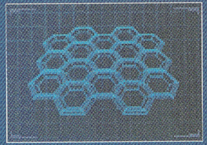


11
ペースト上の切開マーカーにあわせてメスを入れる。バイタルは安定するので、慌てずに。



12
切開後はピンセットで体組織を摘出しトレイに移す。人体ではないので術後の処置はしなくていい。

STORY 4-7



手術No21

新薬開発

患者 HEXA01

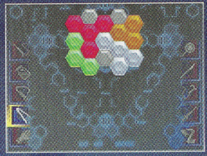
TIME LIMIT —

ペンプティ駆逐のための新薬開発協力。ナノマシン開発のためのアイデア協力。見本の形になるようピースをはめ込み、新薬の基盤を作る。

1 ピンセットでピースを摘み、台座に移す



1a
上画面に表示された見本と同じ形になるように、ピースを台座にはめ込んでいくのが今回の手術。



1b
写真のようにピースを配置すればクリア！ これで対ペンプティナノマシンの開発は終了となる。

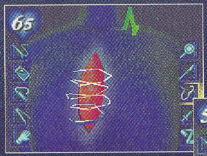


1c
パズルを完成させるまでに時間がかかると、上画面にでてくるメッセージが変わるぞ。

COLUMN

縫合はどこまで縫合と認められるのか!?

つい古村百恵看護師にレクチャーを受けたとおり、常識的にジグザグに傷口を縫ってはいないだろうか？ じつは、このジグザグ縫いにこだわらなくとも、縫合したと認められるのだ。たとえば、右で紹介しているスパイラル縫いは、なんとなく常識の範疇ともいえそうだが、自分が患者であったら勘弁してほしいうずまき縫いや、傷口が塞がっているとは到底思えない1本縫いでも、なんとOK！をもらえてしまった。どうやら傷口の中心線からの左右の距離と使用した糸の長さが、傷口ごとに設定された規定範囲内であり、かつ一筆書きであれば縫合成功と認めてくれるようだ。



スパイラル縫い



うずまき縫い



1本縫い